日本原子力学会
標準委員会 組織図

（2013.04.12現在）

標準委員会
（宮野委員長；28名）

- 標準活動検討タスク（岡本主査）
- 燃料基準開発タスク（関村主査）
- 原子力安全検討会（田中主査）

リスク専門部会
（山口部会長；27名）

リスク情報の活用のための基本的考え方をまとめ、各分野のPRA（Probabilistic Risk Assessment）の考え方およびその手法を中心に基準化の整備を行う。

- リスク評価標準体系化戦略タスク（山口主査）
- PRA活用検討タスク（山口主査）

- レベル1PRA分科会（村松主査）
- レベル2PSA分科会（梶本主査）
- レベル3PSA分科会（本間主査）
- リスク情報活用ガイドライン分科会（平野（雅）主査）
- 地震PRA分科会（平野（光）主査）
- 内部溢水PRA分科会（小倉主査）
- 津波PRA分科会（山口主査）
- 火災PRA分科会（高木主査）
- PRA品質確保分科会（越塚主査）
- サイクル施設関連の複数のPSA分科会（将来設置）

システム安全専門部会
（関村部会長；22名）

原子力施設の安全設計や運転・運用における安全確保に係わる考え方、その手段および方法を中心に基準化の整備を行う。炉心・燃料および発電所全体の設備の安全に係わる事項を扱う。

- システム安全合同タスク（阿部主査）

- PLM分科会（鈴木主査）
- 定期安全レビュー（PSR）分科会（岡本主査）
- BWR核熱水力安定性評価分科会（三島主査）
- 統計的安全評価手法標準分科会（三島主査）
- 水化学管理分科会（勝村主査）
- 炉心燃料分科会（阿部主査）
- シビアアクシデントマネジメント分科会（岡本主査）

基盤・応用技術専門部会
（岡本部会長；21名）

原子力の共通基盤事項、放射線・放射能への対応や基準化および熱流動に関する基準化などと、解析技術の一般化や基準化と応用に関する事項を扱い、適用の基準化の整備を行う。

- 放射線遮蔽分科会（坂本主査）
- 廃止措置分科会（岡本主査）
- 風洞実験実施基準分科会（井出主査）
- 有効高さ評価モデル分科会（北林主査）
- シミュレーションの信頼性分科会（笠原（文）主査）

原子燃料サイクル専門部会
（有冨部会長；24名）

原子燃料サイクル施設、燃料加工施設、再処理施設、および廃棄物処理処分施設と核物質の輸送に供する設備に係わる事項およびそれらの施設に特有の安全設計や運用、放射性物質の取り扱いの基準化の整備を行う。

- 輸送容器分科会（久保主査）
- リサイクル燃料貯蔵分科会（有冨主査）
- 深地層分配係数分科会（森山主査）
- クリアランスレベル検認分科会（川上（泰）主査）
- LLW廃棄体等製作・管理分科会（柳原主査）
- LLW放射能評価分科会（川上（泰）主査）
- 返還廃棄物確認分科会（井口主査）
- ウラン・TRU施設クリアランスレベル検認分科会（井口主査）
- LLW埋設後管理分科会（新堀主査）
- LLW埋設施設検査方法分科会（川上（泰）主査）
- LLW処分安全評価分科会（川上（泰）主査）
- 臨界安全管理分科会（中島主査）